

# 令和4年度第1回学術講演会のお知らせ

豊島区歯科医師会では下記の通り学術講演会を行ないます

日時：令和4年7月21日 19時半から

場所：豊島区歯科医師会会館3階ホール

およびZOOMでの同時配信

講師：東京医科歯科大学大学院 生体補綴歯科学分野

若林 則幸教授

『臨床例で考えるパーシャルデンチャー

ー保険導入された磁性アタッチメントを中心にー』

高齢になっても歯を残せる人が増えた。これに伴い無歯顎の高齢者が減少する一方で、85歳以上の超高齢者で46.3%の人がパーシャルデンチャーを装着し、その割合も増加している。パーシャルデンチャーの臨床は、引き続き歯科診療の重要な部分を占めており、さらに重度の歯周炎を併発したり、すれ違い咬合であったり、さまざまな咀嚼習慣や咬合習癖を持つなど、基本的なパーシャルデンチャーの設計原則だけでは対応が難しい症例が増えている。

一人ひとりの患者さんが最も必要とするパーシャルデンチャーの設計とメンテナンスを通して、痛みがなく噛めて、違和感が少なく、特別な材料を使わなくても外観の優れた義歯を提供できることは、歯科医師にとって重要な責務と考えられる。講演ではまず、パーシャルデンチャーの設計を行う上で必須の原則をわかりやすく解説する。パーシャルデンチャーに不可欠な支持、把持、維持それぞれの機能を実現するための実践的なアイデア、支台歯に負担とならない維持装置の設計方法を供覧する。できるだけ多くの典型的な、または典型的ではないが示唆に富むパーシャルの症例を供覧し、様々な症例に対する解決方法について、あらためて一緒に考えたい。

さらに、最近保険導入された磁性アタッチメントの使用法、適応症、禁忌などについて情報を共有し、臨床例とその術式についても詳しく触れたい。複数の症例の治療方針と設計を体得することにより、パーシャルデンチャーによる対応力の一助となるようにしたい。



若林則幸教授 ご略歴

1988年 東京医科歯科大学 歯学部 卒業

1992年 東京医科歯科大学 歯学研究科 歯科補綴学 博士課程 修了

1994年 東京医科歯科大学 歯学部 歯科補綴学 第一講座 助手

2006年 岩手医科大学 歯学部 歯科補綴学 第一講座 助教授

2013年 東京医科歯科大学 大学院 部分床義歯補綴学 教授（～現在）  
（2021年11月より分野名が「生体補綴歯科学分野」に変更）

2017年 東京医科歯科大学 歯学部 附属病院 院長（～2020年）

2020年 東京医科歯科大学 理事・副学長（教育担当）（～現在）

お名前

日歯生涯研修ID（ZOOM参加の方）

会館参加

ZOOM参加

ZOOMミーティングID: 973 7168 6293 パスコード: 145507

- ・会館での参加は先着20名までとさせていただきます。
- ・ZOOM参加の先生は日歯生涯研修登録のため出欠確認をいたします。  
聴講中出席者のお名前が確認できるように設定してください。

参加ご希望の方は事務局（03-3941-2544）までFAXにてお申し込みください。